

e-dream-s

No. 14 発行:2001.7.8 [特定非営利活動法人 イー・ドリームズ] 通信

おめでとう! NPO 法人認証1周年!

第6回理事会・第2回定時会員総会の成 功を!

e-dream-sの法人認証から1年が経ちます。8月には会員総会を開催し、この1年間のe-dream-sの事業や、組織づくりを総括し、新たな気持ちで2年目の活動を進めていきたいと思えます。会員総会に向け、7月末には理事会で論議を深めていくことになっています。

e-dream-sの活動を支える財政収入の柱である2年目の会費の振り込みの期限が迫っています。通信の最後に振り込み先を掲載していますので、入金をよろしくお願ひします。

e-dream-s.come.true

2001-2002 年度 事業企画案

タスク型プロジェクトの提案:

e-dream-s のコア・コンピテンス

井川 好二

今年度から始まったフォト・アーカイブ・プロジェクトの成功が、e-dream-sにもたらしたものは大きい。このプロジェクトの初期目標完遂の目途がたった今、振り返ってみると、事業を行う主体としての自信がついたことが、一番大きいことかも知れない。NPOとして、企画、実施した具体的な事業が、社会から客観的に認知、評価された事実は、e-dream-sの今後の存在

意義 (raison d'être) を考える上で極めて重要である。

このプロジェクトを進めていく中で、はっきり見えてきたことがいくつかある。それは、e-dream-s の組織としてのコア・コンピテンス（事業体の競争力の中核となる固有の能力や技術）が、対外的にも対内的にも明確になってきたことであり、誠に喜ばしい限りである。私たちは、他と比べてどこに強みがあるのかが、確認できたことは今後の事業を考える糧となる。

成功を持続するためには、私たちのグループとしてのコンピテンスを一層強化するばかりでなく、それを事業に、より鮮明に反映させることが肝要であることは言うまでもない。ユニクロと云い、エルメスと云い、成功している事業体は、コンピテンスが明瞭であり、それへの徹底が成功の保証である。

今回のプロジェクトで明確化された e-dream-s のコア・コンピテンスとは、e-dream-s が：

- (1) 学校教育と国際交流の分野に強い NPO であるということ。
- (2) 文化的コンテンツを、普遍化（アーカイブの場合は、IT 化/デジタル化）して発信できる NPO であること。
- (3) タスク型プロジェクトを提案実施できる NPO であること。

英語教員の研修組織を母体とする NPO として、当たり前と云えば、当たり前の話だが、これが具体的な事業の形で確認できたのは嬉しい。

授業で使える海外写真選択の過程で、どの写真が使えるのかと云う判断が、すぐにつくのが心強い。それが、英語だけではなく、例えば、社会でも国語でも、使えると言い切れるところが、強みである。それに、使用場所も、日本の教室に限らない。アメリカの教室でも、中国の教室でも、教育現場で使える写真とそうでないものの、見分けが付くのは、構成メンバーの大半がベテラン教師だからであり、アジアやアメリカの教育現場を視察したり日本紹介の授業をした経験を持つ教師が中核だからである。

e-dream-s が、国際的なネットワークを持っていることも、その強みの一つである。長年にわたり教員交流のプログラムを企画実施してきた経験から、アメリカとは太いパイプがあるし、アジア各国とも緊密に繋がっている。世界の教育関係者とリアルタイムに連携できること、またその言語を持っていることが、他の事業体には真似のできないコンピテンスであろう。

社会がそこに生きる人間たちの行動パターン、文化がその行動パターンの寄って立つ価値観であるとすれば、写真は人々の行動パターンと価値観を写し取っている。その意味で、写真は社会や文化を切り取る。写真には、もちろん、撮った人間の価値観も投影されている。すなわち、解釈された社会や文化である。

フォト・アーカイブ・プロジェクトは、机の引き出しや押入の中に眠っている切り取られた社会や文化に、再び生命を与えた。写真をデジタル化して発信することは、切り取った社会や文化を通して、世界観を発信することである。世界中の教室で、コンテンツを共有することである。

タスクとは、定められた期間内に、参加者が持つ様々な情報や能力を結集し、一定の目標達成に向かって協働することである。タスクは、シナジー（相乗効果）を生み出すための枠組みとも云える。それは、異なった立場、主張、利害を持つ人間たちが、目標達成のために期間限定で集合し、結果を出すために力を出し合うプラグマティズムである。

これまでは、内部的な協働のパターンであったタスクが、フォト・アーカイブ・プロジェクトにおいて、外部の個人や企業も参加者として含む事業の枠組みとして具現化したことの意義は大きい。即ち、現代社会における協働パターンとして、タスクが普遍であることの証明である。シナジーを生み出すための形の確認である。

さて、こうしたコア・コンピテンスを持つ e-dream-s の 2001-2002 年度事業計画案である。以下いくつかの思いつきを述べてみたい。これらの企画に共通の特徴は、タスク型事業である点である。

すなわち、これらの企画に賛同する人々や法人のプロジェクトへの参加を、それぞれに募集する。プロジェクトへの参加者は、一定の期間、特定の目標達成のために、費用の分担やボランティア活動などを行う。なお、e-dream-s としては、複数のプロジェクトを平行して行うが、参加者はプロジェクト毎の参加となる。

このことは、事業主体としての e-dream-s への参画とは、別途のものとして位置づけられる。あくまでも、タスクとしてのプロジェクトへの、期間限定での参加である。無論、プロジェクト参加者が、e-dream-s へ加入することも可能である。しかし、タスク型事業の基本は、参加者へ「プロジェクトへの賛同と参加」を求めることにあり、その事業体である「組織としての e-dream-s」への加入を求めるものではない。

こうした事業をタスク型でおこなうことにより、e-dream-s は、参加者の夢を形にする媒体となる。

（１）留学生支援プロジェクト

日本に留学しているアジアからの留学生を支援するプロジェクト。将来有望で e-dream-s の趣旨に賛同するアジアからの留学生を選抜し、奨学金を支給し、未来におけるアジアと日本の架け橋を築く。支給期間は一年ごと更新。例えば、10名の留学生に、奨学金として、月5万円（年間60万円）を支給する。経費は、奨学金600万円とマネジメント費用150万円の合計750万円。費用は全額、プロジェクトへの賛同者からの寄付とする。（一口月1000円で

年間 12,000 円：募集目標 625 口）受給者からの声を収録した News Letter の発行、および報告会・交流会の実施。本プロジェクトは各年度毎に完結とするが、今後 10 年間毎年実施し、全体として留学生 100 名への支援を行うことを最終目標とする。

（２） タイ学校建設プロジェクト

タイ北部チェンマイに、山岳少数民族の子供達のための学校を建設する。チェンマイの協労グループと連携し、趣旨に相応しい場所に校舎を建設し、少数民族自立のための生活技術の指導、日本語・英語指導などを行う同時に、日本の生徒、学生、教員のアジア研修の基地とする。5 年間で、用地の入手、校舎建設、教員の採用、カリキュラムの編成、生徒募集、授業・プログラムの開始を行う。経費は、2500 万円。費用は全額、プロジェクトへの賛同者からの寄付とする。（一口月 1000 円で年間 12,000 円、5 年間で 60,000 円：募集目標 350 口）学校建設の進行状況を伝える Newsletter の発行、および報告会・交流会・現地視察ツアーの実施。

（３） 多言語メール・マガジン(MMM)の発行

日本語、英語を基本言語に、日本、アジア、教育、文化などをテーマとして取り扱う多言語メール・マガジンを発行し、海外における日本理解、日本におけるアジア理解、教育を通しての異文化理解、世界における教育の質の向上を図る一助とする。質の高い若手執筆者、写真家、映像作家、画家など作品を厳選編集し、年間 4 回の配信とする。配信は無料とするが、作成費用は全額、賛同者よりの寄付とする。経費は、各号 100 万円で、年間 400 万円（一口月 1000 円で年間 12,000 円：募集目標 350 口）。メール・マガジンに、賛同者の名前を掲載する。また、年間 1 回、執筆者等を講演者とするアジアの教育と国際化に関するシンポジウムを開催する。

以上。

法人認証 2 年目を迎えて

中川 房代

「今日から登下校時以外は西門を施錠します。生徒への連絡をお願いします。」

「不審と思われる人を見かけたら、職員室まで連絡するように。」

毎日のように、朝の職員打ち合わせで連絡がある。

6 月の池田小学校の事件以来、開かれた学校か学校内の安全確保かを巡って市民全員がコメントャーのようにになっている。

私は教師の一人として、何が言えるのか。問題は、校門を閉めるかどうかではない。勿論安全対策も必要だが、もっと根本から考えていかなければいけない。国会でも教育関連法案が可決され、来年度からは小中学校で「新学習指導要領」実施される。文部科学省や教育委員会のトップダウンではやっていけないのははっきりしている。

公立学校を語るキーワードは、「地域との連携」「地域の中の学校」だと最近思っている。これは、今後、公立学校が生き残っていく“キーワード”だということだ。地域のニーズを把握してその上で、こうするという方針を持っていない学校は淘汰されていくのではないか。

事業の1つとして「教育改革提言事業」を掲げている e-dream-s として、今後、教育のあり方や方向性について国内外に情報や提言を発信していきたい。今年度は、まず、理事会・会員総会で論議していきたい、と私は考えている。

インターネットは楽しい。

原口 恵美

「インターネットは楽しい。」と最近、初めて思いました。と、こんなことをホームページの担当者がいうのはおかしいですが、本当に初めて思ったのです。実は、今まで私は、毎日メールをチェックすることが少し面倒だなあと思うこともあるし、インターネットで何時間もネットサーフィンをするよりは、本屋で何かを探すほうが好きだと思ったりしていたのです。

そのインターネットが、今回、夏の海外旅行を計画するために大活躍しているのです。まずは、アクロスのイギリス合宿で与えられたタスクの一つである、現地でのフィールドワーク。イギリス合宿の間に、自分で興味のあるテーマに沿って、実際にイギリスの人たちと会って交流をするという企画があります。私は「仕事と子育ての両立」というテーマを、一緒に合宿に参加するもう一人のメンバーと設定し、いろいろと試みています。

まずは、インターネットで検索。女性、仕事、子育て、などとキーワードを入れると、それに関するホームページのリストがたくさん出てきます。政府や自治体のホームページでは、様々な行政からの支援について、知ることができます。イギリスではブレア首相の改革のもとで、働く親たちを支援する福祉政策がとられているようだし、自治体は、相談機関を設けて対応しているとのこと。また、イギリスには、たくさんのチャリティ団体があるようですが、その中に、働く親たちを支援する団体もあります。そうして、ホームページの紹介文を読んで、これだと思ふものを開いてみます。ホームページには、その活動紹介なども詳しく書かれてあるの

で、実際に何をしている団体なのかがよくわかります。

そして、何よりも、こちらからコンタクトを取ることができるのです！これがインターネットの最大の利点。何のつながりもなかった人たちと繋がることができる、ということ。早速、こちら側の自己紹介とともに、イギリスで是非、お会いして話したいという旨を英語で書き、メールで送信する。待つこと、2週間。返事はなかなか来ませんでした。再度の挑戦、ともう少し具体的に書いて送信する。

と、ついに、1つの団体から返事が来ました。I'd be happy to meet you.と読んで、思わず声をあげて喜ぶ私。日時などは、また連絡してくれるそうですが、来る前にその団体の活動に関する資料などを日本に送ってくれると書いていました。何だかぐっと距離が縮まった気がします。会うからには、ちゃんと話をしなければ・・・と準備にも弾みがつきます。こんなことは、インターネットなくしては実現しないことかもしれません。インターネットは楽しいと実感した瞬間でした。

もう一つあります。合宿の後、私はスイス・フランスを旅して帰国する予定なのですが、ここにも、インターネットは大活躍です。海外で自由旅行をするのに一番心配なのが、宿泊するホテル。現地で探すという手もあるのですが、英語が通じないかもしれないという不安もあるし、貴重な時間をホテル探しに費やすのももったいない。日本の旅行会社に予約してもらおうのも手数料がかかるし、予約できるホテルは高級ホテルが主なのです。

というわけで、私は旅行ガイドにのっていた、ホテルや現地の観光案内のサイトにアクセスしてみました。すると、現地の観光案内のサイトでは、旅行に関する様々な情報とともに、ホテルリストがありました。1つ星から5つ星までランク別に分けられていて、クリックすると写真と簡単な紹介文つきでたくさん出てきます。さらに、ホテル名をクリックするとホテル独自のホームページへとリンクされています。ホテルの外観のみならず、部屋やレストランなどの写真、料金案内、地図、オーナー家族の写真まであつたりします。予約フォームのあるサイトも多く、必要事項を入力するだけで簡単予約をすることができます。気に入ったホテルにいくつか問い合わせると、すぐに返事が来ます。Dear Sir, Dear Madam, という書き出しで予約確認書が送られて来ました。確認書には、料金とともに room with bath/WC and balcony overlooking the lake などと書いてあり湖を眺める部屋をイメージして今からわくわくしています。結局、旅行中すべてのホテルの予約をインターネットで済ませることができました。

この間、毎日、パソコンに向かうのが楽しみだったこと。インターネットの楽しみを初めて実感できました。

さて、e-dream-s のホームページ。現在、英語版のページを3ページほど作成しました。まだ、みなさんにお見せすることはできませんが、近日中に公開予定です。

台湾の北山國民中学からお手紙が来ました

山田 昌子

1999年台湾大地震の際、ACROSSの仲立ちで近畿地区から4校の学校の生徒が千羽鶴やお手紙、カードを送ったのを覚えておられますか？

朴さんや後藤さんの学校には、北山國民中学から御礼の御返事がきましたが、その後は、なしのつづて。2000年春、私は単身、台湾のちょうどへそにあたる地域にある北山國民中学を訪問、王校長先生やコンタクトティーチャーであった曾先生に会いました。曾先生のお宅にホームステイもし、すっかり仲良くなりました。王校長先生は近況を知らせる手紙を送ると約束してくださいました。

が、その後、何の連絡もない。また、何度こちらからお手紙を出しても御返事が来ない・・・どうしたらいいだろう。これで友情も消えてしまうのだろうか・・・考えていたところ、ふと、訪問時、英語がなかなか通じにくかったことを思い出しました。台北はともかく、田舎である埔里や草屯あたりでは、英語が話せる人は少なく(日本語のほうがよっぽど通じた！)、スムーズなコミュニケーションというわけではなかったのです。王校長先生が最後に「今度来る時は、もう少しゆっくりしゃべってね」と言われたっけ。私の英語は決して native speakers の natural speed ではなかったし、教室で話すようなスピードだった。ウンウンとうなずかれるので、通じているのかなと思いつつしゃべってみたいけど、もう少し配慮すべきだったかなと反省したっけ。曾先生もパソコンの具合が悪いと愚痴っていたし、教務主任の先生からeメールが来たけど、化け文字で全く読めず、英語で返事を書いたけど、それ以来メールなし。(同時期に仕事でシンガポールの人達とeメールや下見で交流をしたけれど、状況は全く異なっていた！)

だったら・・・英語が駄目なら、彼らの母語である中国語をつかったらどうかと思い立ちました。早速知り合いの中国人女性丹さんにお願ひし、(私の病気休養等でちょっと延びてしまいましたが)6月始めには送付することができました。すると、6月末に、私の勤務校に御返事が来ました。(今度は速い!)漢字ばかり、中国語の返事でした。英語の言葉の壁は大きかったということでしょうか。北山國民中学新聞(勿論これも中国語のみ)も同封されており、当時来校したグレッグの写真、私と校長先生の写真も載っていました。当時一生懸命千羽鶴を折ってくれた勤務校の高1の生徒も現在は高3になっています。お手紙は、現在丹さんに通訳していただいているところです。また e-dream-s 通信に紹介できればいいなと思っています。

国際交流や国際理解教育をすすめようとしている学校や団体は、数多くありますが、コミュニケーションを何語でするか、共通言語は何か、これは大きな問題です。これからの e-dream-s の活動の参考になればと、ひとつのエピソードを紹介させていただきました。

E-DREAM-S 通信 2001.7 No.4

全権大使 報告(3)

飯田 佐恵

「外国人のための日本語教授法」講座の「基本コース」と「共通語コース」、計20回を終えてひと休みしています。ひき続いて「話術訓練コース」と「教師演習コース」があるのですが、とにかく疲れてこのまま通っても追われるだけで身が入らないので、休憩することにしました。この学園は4コースのうちどこからでも受講できるので、必要だと思えば「教師演習コース」にまた参加しようかなと考えています。

この3ヶ月、受講した締めくくりとして、外国の方々や私のように大阪弁でしか話せない者が日本語(共通語)の発音を初めて習う時に意識しなければならないことを挙げてみます。

1) 日本語を発するとき、第一音と第二音との間に必ず高低がある。

例: 「目を」--- 第一音は高い音で始まり、第二音で下がる。

「こんにちは」--- 第一音は低い音で始まり、第二音で上がり、第三、第四、第五音は同じ音程を保って終わる。

2) 日本語のアクセントには大きく分けて4つの型がある。

①平板式 例:「さくら」「赤い」「歌う」--- 必ず、第一音は低い音から出して第二音へと上がり、第三音は第二音と同じ音程である。

②起伏式の頭高型 例:「野原」「ない」「見る」--- 第一音が高い音で始まり、第二音で下がり、第三音は第二音と同じ音程である。

③起伏式の中高型 例:「心」「早い」「歩く」--- 第一音は低い音で始まり、第二音で上がり、第三音でまた下がるが、この音は第一と第二の中間の高さである。

中高型には高い部分が1箇所、2箇所、3箇所とかの数によって中高 I(試験)、中高 II(先生)、中高 III(ございます)などと呼ぶ。

④起伏式の尾高型 例:「鏡」--- 第一音は高い音から始まり、第二音で上がり、第三音は第二音と同じ音程を保つ。

平板式との違いは、この語の後に助詞がつくと、その助詞の音程は前の音より低い。平板式は助詞がついても助詞の音程は下がらない。

3) 長音を十分のばす。

特に語尾が短くならないように気をつける。

クーラーがうっかりすると「クーラ」になりがち。高校(こーこー)が「コーコ」になりがち。

4) E I(エイ) 母音は基本的には「エー」と引っ張って発音する。

せんせい(先生)は「センセー」 けいえい(経営)「ケーエー」

5) 促音「つまる音 ツ」を正確に発音する。

はっしゃ(発車)が「ハシヤ」、はっぴ(法被)が「ハピ」としか言えない。

6) 撥音「ン」は5種類もあるが、特に

* 通鼻濁音は、わかっているにもかかわらず明瞭に発音していないことが多い。

“マンガ” や “～が” の「が」を「ンガ」と鼻音を出す。

* 両唇音の[m]を発音するとき、唇の閉めが弱い。

「マ」行、「バ」行、「パ」行の前の「ン」

“さんま”の「ン」は[m]としっかりと唇を閉じて鼻音を出す。

* 母音の前の「ン」を明瞭に発音する。はんい(範囲)の[hani]、はんえー(繁栄)の[hanei]

など、[n]の後の母音「イ」、「エー」をはっきりと声を出す。

7) 二重母音は口の開きの大きから小へと発音する。つまり、母音の力関係に従って発音する。

アオ アエ アウ アイ

オエ オウ オイ

エウ エイ

ウイ

となって、前の母音の方が強く発音されて決して二音が同じ音量にはならない。

8) 拗音(キャ行、ギヤ行、シャ行、ジャ行、チャ行、ニヤ行、ヒヤ行、、ピヤ行、ミヤ行、リヤ行)を明瞭に発音する。

びょーいん(病院)の「ビョ」、チョコレートの「チョ」、りょこー(旅行)の「リョ」

など、二つの子音を分けて「ビョ」、「チョ」、「リョ」と発音しないように注意する。

私は、現在、二ヶ所で日本に住んでいる外国の人たちの日本語学習の手伝いをしています。中国人の女性、タイ人の修行僧、ベトナム総領事館のスタッフやその家族と一緒に勉強していますが、上記の3)～8)のどれかによく出くわします。この人たちの傾向をよく観察しながら、私の悪い癖がうつらないように講座で学んだことを実践に生かしていこうと思っています。

E-DREAM-S 通信 2001.7 No.5

第6回理事会のお知らせ

8月の第2回定時会員総会に向け、以下の日程で第6回理事会を開催します。

月日： 2001年7月20日（金）（祝日）
場所： 神戸
時間： 13：00-15：00 e-dream-s 理事会（理事、監事、顧問）
15：00-17：00 ACROSS 英國合宿（e-dream-s 後援）打ち合わせ
17：00-19：00 写真選考ミーティング

* 尚、第2回定時会員総会を8月末に予定しています。
日時、場所等は決定次第お知らせしますので、参加をお願いします。

会費振り込みのお願い

辻岡 尚子

今年度より、会費は以下の口座に個人で振り込んでいただくことになっておりますので、よろしくお願いたします。

なお、途中入会等で入会金や前年度分の振り込みをいただいていない方につきましては、まとめて振り込んでいただきますようお願いいたします。振り込み料は各自ご負担をお願いします。

口座 三井住友銀行 立売堀支店(いたちぼりしてん)
普通 1190345
イー・ドリームズ 会計 辻岡尚子(つじおか なおこ)

入会金 5,000円(新規入会の方のみ。継続会員の方は必要ありません。)
年会費 6,000円(賛助会員3000円)

期 日 7月31日

NPO ニュース

NPOWEB Mail Magazine No.014(シーズメールマガジン)より抜粋

NPO News ◆.....

NPO 支援税制の財務省令出される

.....◆
6月28日、財務省は、「租税特別措置法施行規則等の一部を改正する省令」を公布した。
これは、今年10月から施行されるNPO支援税制の省令にあたる。

NPO支援税制は、すでに法律部分と政令部分が、今年3月30日に公布されており、この省令で、
ほぼ全体像が出そろったことになる。

NPO News ◆.....

政府雇用対策に「NPOの育成」

.....◆
政府の産業構造改革・雇用対策本部は、26日、「中間とりまとめ」を決定し、発表した。

この「中間とりまとめ」中、「1）新市場、新産業の育成による雇用創出」において、「新たな
経済主体（NPO）の育成」という一章が設けられている。

▽詳細はシーズホームページに紹介中 <http://www.npoweb.gr.jp/>

イベント情報

★8/4・5（土・日）NPO全国フォーラム2001 東海会議

「新たな協働の世紀へ」これが今回のNPO全国フォーラム東海会議の中心テーマです。非営利
セクターの力を「つくる」、NPO同士、NPOと行政や企業とを「つなぐ」、新しい協働社会の仕組
みを「つむぐ」という3部構成で、多様な討論の場を用意しました。

NPOに関わっている人々、NPOに関心を持っている人々が広く集い、自分たち自身で非営利セク
ターの到達点と課題を確認し洗い出す共同作業を試みたいと思います。

- 日時：8/4（土）13：00～18：00（18：30～懇親会）8/5（日）9：30～16：30
- 会場：名古屋国際会議場（名古屋市熱田区熱田西町）

E-DREAM-S 通信 2001.7 No.6

- 参加対象：NPO関係者およびNPOに関心のある方（セクター、分野は問いません）
- 参加経費：フォーラム：全日参加1万円（宿泊、食事含みません）
部分参加6000円（1日単位） 懇親会4000円（参加費の振込時にご入金ください）

- 定員：800名
- 締切り：7/16（月）ただし、定員になり次第締め切ります
- 参加申込書取り寄せ・問合せ：NPO 全国フォーラム 2001 東海会議実行委員会事務局
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 市民フォーラム 21・NPO センター内
tel：05-586-1154 fax：052-586-1174 E-mail：office@sf21npo.gr.jp
- 大阪 NPO センターに参加申込書付きパンフレットがございます。ご希望の方はセンターまでご連絡ください。

e-dream-s 通信 2001/7/8 号外

彼方を見よ

辻 莊一

e-dream-s のマスコットは「イーダリーちゃん」です。体の e は教育とインターネットを表し、視線を上に向けてちょっと誇らしげに歩いている。会員の皆さんの視線はイーダリーちゃんのように上を向いていますか。

e-dream-s は会員のほとんどが教師や教育関係者というちょっと変わり種の NPO 法人ですが、毎日うだるような暑さの中で冷房もない職場で苦勞も多い仕事をしていると、つい視線が下を向いてしまいがちです。視線が下をむくと心も内向きになります。日々の生活以外のことを考えるのが億劫になります。

皆さんは、e-dream-s の将来の経営について考えていますか？残念ながら理想的とは言い難い形になっているホームページをどうすればもっとよいものになるか、すこしでも考えたことがありますか？写真アーカイブのサイトはどんな風になればいいか、考えていますか？e-dream-s の事業に対して自分にどんな貢献が出来るか考えているでしょうか。

皆さんの、視線が上を向けばその視線が届く距離も大きくなります。そして皆さんの視線の総和が e-dream-s の将来性です。暑さや仕事に疲れたら、イーダリーちゃんを思いだして、視線を上に向けましょう。